

二人は静かに向かい合っている。  
落ち着いているようではあるが、  
すぐにも動き出せるよう  
一部の間もなくお互い様子を伺っていた。





しかし次の瞬間！  
二人に流れていた時間が突如止まった！

ピタ





二人の時間が止まったのは時を止める能力者である男の仕業だった。男は二人の注意がそれるのを待ちながら、襲うタイミングを見計らっていたのだ。男の手により、二人は無自覚の内にあられもない姿をさらしてしまう。





男は二人が無抵抗なのを良いことに、二人の体を弄り始めた。二人は自覚こそないものの体は敏感に反応してしまっている。快感が徐々に蓄積されていくが、二人がそれを自覚するには時間が再び動き出さなくてはならない。





男は我慢できなくなり、ついに自分の怒張したものを二人の秘部に挿入し始めた。否応なしに二人の快感は高められていき、蓄積されていく。男はその邪な欲望を二人の中に幾度となく吐き出した。







彼女たちが数度の絶頂を蓄積したころ、  
ようやく男は動きを止めた。  
満足げな笑みを浮かべながら、  
男は立ち去っていく。  
男の姿が見えなくなってしばらくしたのち、  
彼女たちの時間がついに再び  
動き出した。

!

!



な……これは一体…  
か、体が…おかし…  
あ…ああ!?

え…!?なにこれ!?  
気持ちい…??なんで??  
どうなって…!!ええ!!??







は…ハァー!!!

きもひ…ひは  
ぐぎ…きもひい…  
あはははハハ!!!



いけない…!!  
た耐え…!!?  
む無理だああ!!

お…お…!!  
んあ…う…!!































